

市職労退職者の会

たより 63号
2023年5月29日

賑やかに総会と懇親会

会員四十二名の出席で開催

市職労退職者の会は、新型コロナウイルスの感染拡大で延期していた第13回総会を福岡県コロナ警報も解除されたことから4月15日（土）に大博多ビル11階の頤和園で会員42名の出席



で開きました。

総会では、岡田会長から「新型コロナウイルスの感染拡大で長らく活動が制限されてきました。全国的にも感染状況が低下し経済活動の再開も進んでいます。市職労退職者の会としても少しずつ活動を拡大して行きたい」とあいさつ。

続いて横多事務局長から活動報告として「山登り同好会」「小旅クラブ」「手芸教室」などサークル・同好会の活動報告と「第11回退職者の会バスハイク」について報告がありました。

新年度活動方針では、①「サークル・同好会」活動の内容と範囲を広げて行く。②バスハイクは秋・初冬を目安に日帰りで検討する。③何でも話せる昼食交流と懇談会をとりくむことなどが確認されました。

また、2022年度会計収支報告では、会費として146名の方から更新手続きがあり、入金手数料を除いて別

記のとおり43万円余の入金があり現在の会費登録は260名と報告されました。会員の皆様のご支援ご協力ありがとうございます。会員の高齢化も進んでおり会員数も徐々に減少しています。皆様のお知り合いでまだ市職労退職者の会を御存知でない方がありましたらお声かけをお願いします。

《小旅クラブのご案内》

長崎街道「木屋瀬」を歩く

暑くなる6月から8月は「山登り同好会」は休止します。替って「小旅クラブ」の企画を取り組みたいと思います。

6月は長崎街道の宿場町として栄えた筑豊にある「木屋瀬」（こやのせ）を訪ねたいと思います。（裏面につづく）

会計収支報告（2023年3月末現在）

① バスハイク収支

日時 2022年10月20日
場所 佐賀県鹿島市（浜宿他）
参加者 29名
収入の部 130,500円
参加費 4,500円×29名
支出の部 184,840円
貸し切りバス代 135,440円
現地ガイド料 5,900円
昼食代 43,500円
差引 ▲54,340円（組合補助）

② 会費（通信費）収支

<支出の部> たより郵送料金
第58号 25,116円
第59号 25,956円
第60号 25,620円
第61号 25,620円
第62号 25,620円
合計 127,932円
<収入の部>
会費納入 434,875円
3000円×146人（手数料除）
前年繰越金 63,126円
合計 498,001円
次年度繰越 370,069円

船庄屋跡



問屋跡



木屋瀬宿は、筑前六宿とよばれた宿場町の一つで、赤間道と飯塚道へ向かう追分の宿として栄えました。東構口（黒崎口）と西構口（飯塚口）で囲まれた宿場内には、本陣や脇本陣、問屋場や群屋などの諸設備が完備されていました。また、外敵からの防衛のため、町割に工夫がなされており、「く」の字に曲がる街道や、「矢止め」と呼ばれる鋸型の家並みが特徴的です。

御茶屋（本陣）跡



庄屋跡



民の手作りから始まった祭りですが、宿場踊だけでなく様々な企画され大道芸やパレードで一日中にぎわい、近隣地域から多くの人が見物に訪れます。また、各家所蔵の



筑前木屋瀬宿場まつり

毎年11月第1日曜日には、木屋瀬宿内の大通りが歩行者天国となり、街全体を会場にして「筑前木屋瀬まつり」が開かれます。

参加費無料（どなたでも自由に参加を）

締切 6月15日（木）17時まで

参加申込 組合書記局（711 4940）
または横多（090-1346-7117）

昼食 木屋瀬駅近くのお店を利用（要予約）

参加申込 組合書記局（711 4940）
または横多（090-1346-7117）

運賃 2,320円（往復）

集合 博多駅8時43分発直方行で直方下車

集場所 北九州市木屋瀬

日時 6月17日（土）

品々が年に1度一般公開される「町並み資料館」も同時に開催されています。貴重な品々の見学と共に、町家の内部をみることもでき、宿場町を実体験で切る貴重な機会となっています。

《5月の山登り同好会》



山登り同好会では、5月16日に筑紫野市と佐賀県基山町に跨る基山（408m）に登りました。5月にしては季節外れの暑さでしたが、山道に入ると数日前の雨のせいで比較的涼しく感じられました。



今年春の花々が早咲きで、5月中旬までは見られるという「翁草」もすっかり「翁」の姿に変わっていました。



基山は沢山の史跡が見られる山で「歴史散歩道」として整備され、写真は縦15m、横10m余りの「大礎石」跡で、大きな建物が有ったことを窺わせます。